



部長訪問記 2 西宮クラブと神戸学園都市クラブ

西宮クラブは9月9日（金）の例会に参加し、万本敬一ワイズの卓話「パリ印象派の美術」を拝聴させて貰うことになった。会員による卓話シリーズが種切れ（？）になった時は、万本ワイズにバトンが渡るようだ。この日は、パリ印象派の画家からゴッホの人生を辿りつつ、ルネサンス時代の写実的な画風から、それ以降の絵の具の発達が生み出したに始まり、ゴッホは、絵が売れなくて絵の具をたくさん買えなかった、だから比較的安価な黄色を集中的に使った、の弁に、アートビギナーの目から鱗のようなお話し。西宮クラブにはほかにも玄人肌の美術愛好家が居られていると知って、伝統あるクラブの異なる側面を知った。食事は、当日のドライバーが手配する箱弁だったが、例会後は近くのお店で仕切り直しが当たり前。宝塚クラブでも昔は馴染みのカラオケに通ったらしいが、西宮は「酒にある交わり」が脈々と続いているようだ。

神戸学園都市クラブには9月15日（木）の例会に参加した。「第1回学園都市尺八ライブ」というタイトルのオープン例会で、学園都市 YMCA の多目的教室に定員を超える31人が集い、ライブのひとつを楽しんだ。「尺八」といえば竹細工の木管楽器・虚無僧など古風なイメージだったが、何と、開幕演奏は4人の奏者による「アメージング・グレース」だった。奏者は近くにお住まいの先生方らしいが、その内のお一人が杉本会長と同じマンションの居住者で雑談の傍らに今回のイベント話に及んだという。プログラムは、素人にも親しめるように工夫され、「郷音」（さとね）、「ごうおん」とも読み楽器の基本的な5つの音のみを使用の入門曲）、4人の奏者で独奏・二重奏・合奏と変化する4楽章からなる交響曲、イエスタデー・エーデルワイズなどのメドレーが披露された。ポピュラー曲には聴衆もハミングで呼応し、豊かなハーモニーが空間を満たした。このクラブでは尺八ライブは初めてだが、ハープやフルート奏者を招くオープン・ライブを重ねてきているという。クラブはバザーや餅つきなど YMCA との協力事業を重視されているらしいが、今回のような地域のタレントを発掘し、地域に開かれたプログラムはワイズならではの取り組みと位置づけ、是非、続けて戴きたいと思う。また、お隣に座っておられたご婦人とも話しが弾み、故今西ワイズのメネット時子さんの友人と分かり、不思議な出合いに感動を覚えた。

これで各クラブ巡回訪問を終えましたが、それぞれのクラブの個性的な活動を見せて戴き、数々の出合いが不思議な縁で繋がっていることを知りました。ワイズが交流を大切にする理由を再発見し、リアルな交流の場を大切にしなければならないと考えました。

各クラブの暖かいもてなしに対して紙面を借りて感謝を申しあげます。

若林成幸

<六甲部ローンボウルズ大会>

国際・交流主査 田辺征一

9月11日(日)しあわせの村のローンボウル場にて恒例の大会を行いました。昨年はコロナのため休会でしたので2年ぶりの開催です。参加者は神戸ポートの3名、神戸学園都市の5名、ワイズOBの森さんご夫妻、飛び入り参加の彦坂さんご夫妻を合わせて12名でした。当初参加予定の西宮クラブのワイズ3名が直前のコロナ入院やけがのために不参加となり、大変残念でした。今年天然芝から人工コートに改装されたので、ボールは以前より良く転がり、皆はボールの転がりに一喜一憂。今回は1チーム2名の4チームで対戦。午後からは気温も上がり、各人良い汗をかきながらゲームに熱中。1, 2, 3位のチームには金・銀・銅メダルが授与され意気揚々と帰路につきました。お世話になったローンボウルズ協会の合田ワイズと森さんに感謝申し上げます。



YYY フォーラム “市ヶ原わいわいハイキング”

神戸YMCAの組織変更・コロナ禍などの事情で開催が滞っていたYYY (YMCA・Y's・Youth) フォーラム、今年には会員増強委員会のユース職員が中心となり準備会合を重ねて開催の運びとなった。晴天に恵まれた9月10日、午前8時45分に新神戸駅に集合。参加者はYMCA シニア職員5人・ユース職員9人・ワイズ15人・会員家族など33人の参加があった。ロープウェイで行く組とハイキングで山頂を目指す組、車利用組の3班編成を用意していたが、ほとんどがハイキングで山頂を目指し、生田川沿いのやたらと階段ばかりのハイキングコースを黙々と登山。途中の布引の滝(写真)や貯水池の自然豊かな風景の素晴らしさに暑さを忘れ、そして休憩地でのスタッフ気遣いの冷たくて甘い補給食に感激! 目的地の市ヶ原には予定通り1時間半のハイキングで10時30分に到着、3組が合流。ここで配られた冷えたゼリー、葡萄と蜜柑の美味しかったこと。休憩の後は全員が輪になって、大野勉ワイズのギターに合わせキャンプソングの数々を斉唱、秀平YMCA委員のスイカ割りもどきゲーム指導(写真)で大いに笑い交流の広がりを楽しむひと時を過ごした。交流会はあっという間に過ぎ、そして解散。それぞれが歩いて、ロープウェイで下山するグループとそのまま河原で楽しむグループなどにわかれた。野外でのYYYフォーラムは初めての試み。自然の中での交流はとても楽しく豊かな気分が味わえる。今回の場所は近場であり、またハイキングでもロープウェイでも車ででも参加できるという配慮がなされていたことはとてもいい企画だったと思う。参加してこそ得ることのできる豊かな1日だった。

報告 六甲部書記 多胡葉子



第1回六甲部メネット委員会議事録

1. 日時 2022年9月16日(金) 13:00~14:30
2. 場所 神戸YMCA 三宮会館 205室
3. 参加者 若林成幸(六甲部部長) 井出富光子 森愛子(神戸) 宮田泰子(神戸西)
小林貴美子(宝塚) 合田洋子(神戸学園都市)
大岩恵美 大岩雅典(芦屋クラブ) 大野智恵(神戸ポート) ※敬称略

4. 内容

部長挨拶

1) 西日本区ワイズメネット委員会(2021-2022の西日本区役員会で承認)

- ・メネット事業⇒メネット委員会(常置委員会)
- ・メネット主任⇒メネット委員長
- ・ワイズメネット活動を円滑に推進 メネット相互の親睦推進
- ・各部においてはメネット連絡員などを置く ※六甲部はメネット委員長
- ・各部において活動は工夫できる

森愛子さん(西日本区メネット委員)より今期西日本区メネット事業からメネット委員会へ組織変更のあったことに関して理由等説明をいただいた

※活動資金はCS事業から支援を受けられる可能性がある

2) 六甲部メネット委員会の活動計画(2022-2023六甲部第1回評議会で承認)

①ベルマークを集めてYMCA支援(神戸YMCA高等学院)

- ・2021-2022より被災地の学校支援からシフト
- ・神戸YMCA高等学院の学生の学習環境を整える手助けとする
- ・各クラブでベルマーク収集協力

②神戸YMCAに繋がる幼稚園・保育園に絵本を贈る

- ・六甲部メネット委員会の継続活動として取り組む
- ・新しい本を各施設に予算に応じて贈る(3冊から5冊?)
- ・絵本の購入にあたり各クラブに献金をお願いする
※メネット事業廃止に伴い国内プロジェクトやRSD献金がなくなったのでその代わりとして六甲部7クラブから献金をお願いする
- ・西日本区CS事業への支援申請も行う
- ・贈呈施設は17箇所、絵本の選定は神戸YMCAから窓口としての2名にお願いし、1名は六甲部担当主事(橋本唯さん)にお願いする

③メネットの集いを開催

- ・3月のメネット月間に各クラブに呼びかけて、六甲部合同メネット例会(神戸クラブが担当する)を企画しメネットが集う機会を持つ。
※早めに計画してメネットの皆さんにできるだけ参加してもらうよう努力する

④その他

YMCAが行う食料支援の拡大活動としての衣類支援

※9月中に各クラブの状況を報告してもらう

3) 六甲部各クラブのメネット活動の状況

神戸:登録は15名でメネット会を構成(その内、9名が特別メネット)

実質的に活動しているのは約半数

神戸西:メネットは3名だけ

宝塚:メネット3名がメンのサポートをしている

神戸学園都市:メネット2名 ほとんど活動できていない

芦屋：メネット 5名 年に一度メネット例会を持っている

神戸ポート：メネットの登録は 8名（内男性 2名） 1名は他クラブのスピーカーとして活躍

西宮：メネット登録 20名

4) その他

- ・次回メネット委員会はオンラインで開催する（調整さんにて調整後）
- ・メネット委員会の活動経費は六甲部に申請（事業活動費）する。

以上

2022～2023 年 六甲部第 4 回役員会（速報）

六甲部の第 4 回 Zoom 役員会を 2022.10.3（月）19 時～20 時 45 分に行いました。その速報をお届けします。

出席者：（会長）美崎・濱・大野勉（代理）・小林・杉本・大岩。（主査等）井出・田辺・大野智恵

（キャビネット）若林・多胡・長尾 計 12名

1. **六甲部部則の改定問題について**、予め配信した「改正案 2」についての感想を述べ合った後、改正案の主要点である「立候補」「輪番制」「指名委員会」に集中して見解が述べられた。部分的に改正案を評価するという発言もあったが、立候補・輪番制を巡って反対意見が多数となり振り出しに戻ることになった。部長はそれぞれの言い分を考慮して再考を試みるとし、今回の議論を終えた。

2. **部長から「西日本区次々期理事選出」に関する緊急提案**がなされた。

西日本区の指名委員会（新山兼司委員長）は、10/22～23 開催の第 2 回西日本区役員会において選考報告をするために、事前に候補者が属する六甲部及び神戸クラブの考えを質してこられた。初めに神戸クラブから候補者（鶴丹谷 剛ワイズ）の意志を確認し、クラブとして了承した旨の報告があり、質疑を行った後、六甲部としても支持することを了承した。

3. **部長から六甲部部会の準備状況について**

プログラムと進行計画の報告があり、質疑を経てこれを了承するとともに、参加者の確保（六甲部で 60 名程度を期待）、役割分担等に協力することを確認した。

午前の部の「ワイズの CS 活動事例発表会」は、各クラブから提出された CS 事例（別記）を類型別に区分し、分野毎に代表例のプレゼンと意見交換を行う。制約された時間内での話し合いであるが、初の試みとして話題の行方に期待したい。司会は岡山 YMCA 総主事 太田直宏氏に依頼している。

午後は、開会セレモニー（中道基夫先生のメッセージ）・食事・懇親、宝塚歌劇の元スター絵莉千晶さんの歌唱ショー、アピールタイムを計画。久方ぶりの交流機会となる。

なお、参加申込みは 10/15 期限、100 名参加を目標にする。申込みは、早めに多胡葉子ワイズまで。

4. **各事業委員会の報告を行った。**（別記参照）

5. **YMCA 報告**

パートナーシップ委員会（出席者：井上総主事・橋本担当主事・松森・進藤・大野勉・大野智恵・若林）

①YMCA の上期活動実績、維持会員の現況

②六甲部の近況・今後の計画、メネット事業の新しい取組など

6. **会計報告**

9 月末現在で全クラブから部費（合計 115 名分、172,500 円）の納入が報告された。

以上

ワイズの CS 活動事例報告一覧表

2022.10.3

活動区分		資料	クラブ	事業概要	SDGs 番号	発表担当クラブ (次候補)
A	重度障害者・難病患者支援	1	名古屋	重度身障者施設「愛実の会」でクリスマスを祝う	3.4.10. 16.17	名古屋 神戸ポート)
		2	ポート	難病患者いっくん支援 2015 メネット事業を継承	3	
B	子ども困難者支援	3	名古屋	児童養護施設招待 潮干狩り 施設で暮らす子供達に自然にふれあう体験機会の提供	3.4.14. 16.17	神戸 神戸西
		4	神戸・神戸西	WACCA、シングルマザー支援、BBQ 交流会、おかあさん・子ども・余島リーダー	3.17	
		5	神戸	ネットワーク神戸 就労支援型の障害者作業所に牛乳パック・プルトップ提供	1.3.17	
		6	ポート	児童養護施設 真生塾 夏祭り支援	3	
		7	なかのしま	ゆうハウス、障害のある子どもと遊ぶ	3	
		8	芦屋	さくら祭りに出店しファンづくり、みどり作業所支援	3.11	
		9	六甲部	きらりと輝くアート展(動画) 六甲部 CS 事業として障害者のアート・手工芸品の動画を収集・編集、部の HP に掲載	3.4.11	
C	老人困難者支援	10	ポート	特養オリンピック入居者に Xmas プレゼントを贈る	3	宝塚 神戸ポート
		11	宝塚	知的障害者施設 はんしん自立の家で歌・フラ・絵画展、綿紡ぎの支援	3.11	
D	災害被災者支援	12	ポート	揚れ! 希望の凧 須磨海岸で被災者を思う	11	西宮 神戸ポート
		13	宝塚	揚れ! 希望の凧 はんしん自立の家、地域の NGO 等と武庫川河川敷にて	11	
		14	ポート	被災者復興支援 チャリティコンサート		
		15	西宮	(検討中)	3.11	
E	音楽交流	16	宝塚	市民クリスマス”みんなで作る One Christmas”	3.11	学園都市 宝塚
		17	学園都市	邦楽ライブ例会 尺八ライブコンサートへ市民を招待	4.11	
F	国際交流	18	なかのしま	ミャンマーで活動される小森さんを現地産コーヒー販売窓口支援	1.3.6. 10	大阪 なかのしま
			なかのしま	ミャンマーの中村 Dr の無償診療所支援	1.3.10	
G	YMCA サービス	19	六甲部	ベルマークを集めて被災地の学校・YMCA 留学生の教育活動支援	4.10.	芦屋 神戸ポート
		20	芦屋	YMCA 留学生支援 留学生と食事パーティで交流	4.10.	
		21	学園都市	コロナ禍、留学生に対するアンケートをもとに支援方法を模索		
H	環境・植樹	22	中西部	ワイズの森づくり、うなぎの森事業 木材連合会と協働、摂津峡・淀川水系を守る	14.15	中西部